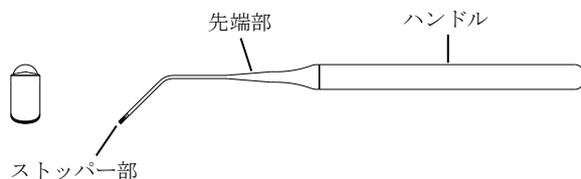


一般医療機器

機械器具（50） 開創又は開孔用器具
 歯科用開創器 JMDNコード：13380000
テクニカ RF リトラクター

【形状・構造及び原理等】

本品の材質はステンレス鋼及びアルミニウム合金である。
 テクニカ RF リトラクター#1

**〈原理等〉**

本品は、口唇又は切開した歯肉の移動及び保護に使用する。
 また、ストッパー部を顎骨に押し当てることによって、先端部が滑りづらくなる。

【使用目的又は効果】

手術時に可視性及び到達性を向上させるため、軟組織を移動し、保護するために用いる。

【使用方法】

- (1) 使用前に本品を滅菌する。
- (2) 先端部で口唇又は切開した歯肉を移動させ、保護する。
- (3) 操作後は、使用、未使用にかかわらず、付着している血液、組織等を速やかに除去し、消毒・洗浄・滅菌を行うこと。

【使用上の注意】

- (1) 本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- (2) 通法に従い、必ず滅菌を行うこと。
- (3) 製品の仕様は改良のため、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- (1) 購入時は未滅菌の為、使用前に必ず洗浄・滅菌を行い、次回からの使用時にも同様に行うこと。
 （オートクレーブ 121℃20分間）
- (2) 本品は、使用するまで常に滅菌後の汚染に注意し、手指・未滅菌の器具などで直接触れないこと。
- (3) 本品は、使用前に必ず口腔外にて、傷やバリ、破損などの支障がないことを確認すること。使用に適さない場合には、新しいものと交換すること。
- (4) 口腔内での破損、曲がり等の原因になる恐れがあるため、使用時に必要以上の力を加えないこと。
- (5) 長期の使用により、金属疲労や摩耗等の劣化が生じるため、適宜交換すること。

[重要な基本的注意]

- (1) 金属アレルギー反応があらわれる可能性があるため、金属アレルギーの患者には使用しないこと。使用中に異常を認めた場合は直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 本品は、汚染及び錆を防ぐため、清潔で湿度が低い場所にて保管すること。
- (2) 錆びる恐れがあるため水分が付着したまま保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 腐食（錆）又は変色の原因となるため、次の成分を含む消毒用薬液、洗浄剤等は使用しないこと。

- ・塩素系薬液（次亜塩素酸ナトリウム等）
- ・過酸化水素系薬液（オキシドール等）
- ・界面活性剤系薬液（塩化ベンゼトニウム液、塩化ベンザルコニウム液、両性界面活性剤等）
- ・アルカリ系薬液
- ・グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテン等）
- ・強酸性水
- ・家庭用洗剤

- (2) 錆びる恐れがあるため次のことについて留意すること。
 - ・最終洗浄は精製水を使用すること。
 - ・湿度が高くて自然乾燥に時間を要する場合には、ドライヤー等を用いて強制的に乾燥させること。
 - ・血液・骨・組織等が凝固付着したまま乾燥させないこと。
 - ・汚れ、水分、洗浄剤などが付着したまま滅菌しないこと。
 - ・オートクレーブ滅菌の場合、精製水を用い、水道水は使用しないこと。
 - ・汚染を引き起こす可能性があるため、錆びた製品と一緒に滅菌しないこと。
- (3) 本品の消毒用薬液は、防錆効果のある次のものを推奨する。その際、濃度、浸漬時間等の使用法は各薬液の添付文書及び使用説明書の指示に従うこと。
 - ・グルタラルール製剤（ハイドリッド等）
- (4) 本品の洗浄には歯科用防錆洗浄剤を使用すること。使用方法については、添付文書及び使用説明書の指示に従うこと。
- (5) 超音波洗浄器で洗浄する際は、器具同士が接触により損傷しないように注意すること。
- (6) 金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので、汚染物除去及び洗浄時に使用しないこと。
- (7) 乾熱滅菌は、高温になり劣化の原因になるので使用しないこと。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売元
 株式会社デンテック
 〒174-0053 東京都板橋区清水町53番5号
 TEL：03-3964-2011 FAX：03-3962-5624
2. 販売元
 有限会社 テクニカ
 〒174-0053 東京都板橋区清水町53番5号
 TEL：03-5375-0605 FAX：03-3962-5624